

## 誓いの言葉

麗らかな春の訪れを感じるようになってきた今日、米沢市新規採用職員として辞令交付式に参加させていただけることを、この上なく光栄に思います。社会人として迎える新生活に期待が高まると同時に、これからの市政を担っていくことへの責任で身が引き締まる思いです。

私が大学に入学した二〇二〇年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい始めた年であり、入学してからの数ヶ月間は大学に通うこともできず、米沢市内の自宅で過ごす日々が続いていました。そんな生活の中でも、生まれ育った街である米沢市がコロナ禍に直面し、混乱に陥っていることが痛切に感じられました。何もできない自分の無力さに歯痒さを覚え、その頃から漠然と「将来は米沢市の力になれる仕事をしたい」と思うようになっていました。

その後、私は米沢市役所のインターンシップに参加し、健康課の業務を一週間体験させていただきました。市内外の方々と共同で行う仕事が多く、様々な立場の方々と堅い信頼関係を築き、和やかな雰囲気業務にあたる職員の姿を何度も目にしました。この経験から、私も皆様のような職員となって、この街を支える仕事ができたいと決意し、米沢市職員を志しました。採用通知をいただいたときの大きな喜びは、今でも昨日のことのように鮮明に思い出されます。

コロナ禍もようやく落ち着きを見せ始めた一方、米沢市は依然、少子高齢化を始めとした様々な課題を抱えています。また、近年は住民ニーズも多様化しており、柔軟な対応力が求められています。このような厳しい状況ではありますが、地域の実情や住民の声に寄り添った行政サービスの提供、持続可能なまちづくりの推進を通じて、「ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢」の実現に真摯に励んで参ります。

最後となりますが、私たちを職員として迎えてくださった皆様への感謝を胸に、新規採用職員一同、米沢市の更なる発展と市民の皆様の幸せを実現できるよう日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和六年四月一日

新規採用職員代表 高橋 七菜子